

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	独立行政法人日本原子力研究開発機構施設整備費	事業開始年度	平成17年度	作成責任者		
担当部局庁	研究開発局	担当課室	原子力課	原子力課長 篠崎 資志		
会計区分	エネルギー対策特別会計(電源開発促進勘定)	上位政策	原子力分野の研究・開発・利用の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律施行令第51条3項2号	関係する計画、通知等	原子力政策大綱(H17年10月11日 原子力委員会決定) エネルギー基本計画(H22年6月18日 閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度)	(独)日本原子力研究開発機構が行う特別会計に関する法律施行令第51条第2項に掲げる業務の実施に必要な施設の設置又は改造に要する費用に係る補助金の交付を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国において原子力発電を定着化し発電規模の拡大を図るため、再処理及び放射性廃棄物の処理処分等に関する技術開発を推進し、核燃料サイクルを早期に確立する必要がある。 また、石油の代替エネルギーとしての原子力利用を一層推進するため、ウラン資源の有効利用を図りうる高速増殖炉の開発が必要であり、関連するサイクル技術を含め、今後、経済性向上に向けた一段の研究開発を進める必要がある。 このため、(独)日本原子力研究開発機構に対し、事業遂行のための施設整備に必要な経費について補助を行い、これらの技術開発を推進させることにより、原子力の研究、開発及び利用の促進に資する。(補助率:定額)					
実施状況	(独)日本原子力研究開発機構の行う下記施設整備に必要な経費を補助した。 ①高速増殖原型炉「もんじゅ」(福井県敦賀市)の原子炉制御設備制御盤類の更新、原子炉補機冷却海水系配管の更新、管理区域出口の体表面モニタの更新、一次系等計測器類の更新、燃料関連設備制御盤類の改修、送電線基幹システム安定化装置の設置、及び蒸気系設備の改修工事についての機能確認及び試験を実施。 ②核燃料サイクル工学研究所(茨城県那珂郡東海村)のプルトニウム燃料施設の造粒設備の改修、分析廃液処理設備の整備を実施。 ③北海道天塩郡幌延町で実施中の幌延深地層研究計画における国際交流施設の建設を実施。 ④大洗研究開発センター(茨城県東茨城郡大洗町)の固体廃棄物減容処理施設の建設工事の準備を実施。 ⑤核燃料サイクル工学研究所の固体廃棄物廃棄体化施設の基本設計を実施。 ⑥核燃料サイクル工学研究所の安定した用水の確保のため、茨城県工業用水及び東海村上水を導入する用水設備等の施設を建設するとともに、老朽化した送水配管の更新を実施。 ⑦核燃料サイクル工学研究所の受変電設備及び非常用発電設備の経年劣化した部品の交換を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	5,140	5,007	3,224	1,992	3255
	執行額	5,082	4,969	3,154		
	執行率	98.9%	99.2%	97.8%		
総事業費(執行ベース)	5,074	4,951	3,134			
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	毎年度、事業完了後に現地に赴き、額の確定調査を実施しており、支出先・用途について把握を行い、本事業の目的に適した適正な支出が行われていることを確認している。				
	見直しの余地	当該補助金に関して、(独)日本原子力研究開発機構全体の事業の整合性や事業の適正性・効果を確認し、適切な交付に努める。				
予算・監視の効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、原子力に関する研究、高速増殖炉の研究開発、高レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発等に取り組む日本原子力研究開発機構の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。 2. 所見:公開プロセスでの指摘等を踏まえ、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保するとともに、予算の硬直化を防ぐため、後年度負担も念頭に整備内容を精査することにより、事業の効率化を一層進めるべきである。					
補記						

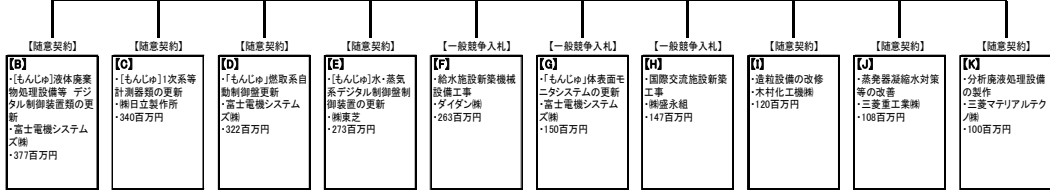
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

文部科学省
3,154百万円

事業概要
独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、その業務の実施に必要な施設の設置又は改造に要する費用に係る補助金の交付

【交付】

(独)日本原子力研究開発機構
3,134百万円
(エネルギー対策特別会計施設整備費補助金)



事業概要
「もんじゅ」の液体廃棄物処理設備等の計測制御装置のうち廃型となり保修部品の調達に困難となった制御装置類について、設備の健全性維持及び信頼性の確保を図るため、更新を行う。

事業概要
「もんじゅ」において据付以来更新を行っていない1次主冷却系計測器及び1次アルゴンガス系圧縮機制御装置計測器等について、設備の健全性および信頼性維持の確保を図るため、運転再開までに順次交換を行う。

事業概要
「もんじゅ」の燃取系自動制御装置において、廃型となり保修部品の調達が困難である燃取自動制御装置、各種センサー、走行台車速度制御インバータについて、設備の機能及び信頼性の確保を図るため更新を行う。

事業概要
「もんじゅ」の水・蒸気系デジタル制御装置制御装置は、多くの部品が製造中止となり、現状設備での健全性維持が困難な状況にある。プラント運転再開前に長期保守が可能なデジタル制御装置とする事が必要不可欠であり、運転再開に向け更新を行う。

事業概要
核燃料サイクル工学研究所における既存配水設備の更新及び運転監視設備の一元化、並びに監視棟・ポンプ棟新築に伴う機械設備工事を行う。

事業概要
「もんじゅ」の体表面モニタシステムについては、運用開始から17年が経過し、メンテナンス部品類が製造中止のため調達に困難であることから、システムの信頼性の向上及び機能の向上を図ることを目的として当該システムの更新を行う。

事業概要
「もんじゅ」の体表面モニタシステムについては、運用開始から17年が経過し、メンテナンス部品類が製造中止のため調達に困難であることから、システムの信頼性の向上及び機能の向上を図ることを目的として当該システムの更新を行う。

事業概要
「もんじゅ」の体表面モニタシステムについては、運用開始から17年が経過し、メンテナンス部品類が製造中止のため調達に困難であることから、システムの信頼性の向上及び機能の向上を図ることを目的として当該システムの更新を行う。

事業概要
本設備は核燃料サイクル工学研究所フルトニウム燃料製造施設において「もんじゅ」初装荷燃料製造機より使用しており、設備の維持が進行したため、安定的な「もんじゅ」燃料製造に備え改修を行う。

事業概要
「もんじゅ」の原子炉起動時に発生する水・蒸気系の予熱時に、蒸発器凝縮水が発生し、蒸発器給水室管部温度が急激に低下する現象を改善するための対策を講ずる。

事業概要
核燃料サイクル工学研究所フルトニウム燃料製造施設において、既設廃液処理設備が老朽化していることから、新機設備の製作を実施する。

A.(独)日本原子力研究開発機構			G.富士電機システムズ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費補助金	もんじゅにおける液体廃棄物処理設備等デジタル制御装置類の更新、給水施設新築機械設備工事、国際交流施設新築工事等	3,134	製作	「もんじゅ」体表面モニタシステムの更新	150
計		3,134	計		150
B.富士電機システムズ(株)			H.(株)盛永組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	[もんじゅ]液体廃棄物処理設備等デジタル制御装置類の更新	377	工事	国際交流施設新築工事	147
計		377	計		147
C.(株)日立製作所			I.木村化工機(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	[もんじゅ]1次系等計測器類の更新	340	製作	造粒設備の改修	120
計		340	計		120
D.富士電機システムズ(株)			J.三菱重工業(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	「もんじゅ」燃取系自動制御盤更新	322	役務	蒸発器凝縮水対策等の改善	108
計		322	計		108
E.(株)東芝			K.三菱マテリアルテクノ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
製作	[もんじゅ]水・蒸気系デジタル制御盤制御装置の更新	273	製作	分析廃液処理設備の製作	100
計		273	計		100
F.ダイダン(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
工事	給水施設新築機械設備工事	263			
計		263			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)